

## UTSW 留学記

University of Texas  
Southwestern Medical Center  
鎌田 修平  
(千葉大学大学院医学研究院泌尿器科学)

2023年1月よりテキサス大学サウスウェスタンメディカルセンターに研究留学をさせていただいております。鎌田修平と申します。留学先のテキサス大学サウスウェスタンメディカルセンターは、アメリカ合衆国テキサス州北部のダラス (Dallas) という街にあります。ケネディ大統領暗殺事件があった街としてご存じの方もいらっしゃるかもしれません。ダラスの人口は約130万人で、全米9位。近隣まで含めたダラス・フォートワース都市圏としての人口では約760万人で全米4位だそうです。日本でいえば名古屋くらいのイメージでしょうか。

ダラスはアメリカ合衆国の中では南部の真ん中あたりに位置しており、最近ではカリフォルニア近辺の地価上昇の影響もあって、テレワークのできるIT関連の人がこぞってテキサスに移住してきているようです。また、テキサス州の中でも内陸に位置し、平地がどこまでも続いているような平らな地形で、気候としては夏の暑さが特徴的です。夏は連日のように43℃超えのため、プールで遊ぶ以外にはアウトドアのレジャーが成立しないレベ

ルです。冬も寒波がくるとマイナス10℃に達することもあります。それさえ過ぎてしまえば2-3月であっても半袖で過ごせるような日もしばしばあります。

研究面では、私はインド人ボスのラボに所属しており、腎癌の転移について研究しています。大学院時代に患者由来のがん細胞を皿の上で培養して免疫不全マウスに移植するような研究をしていましたが、まさにそのスキルを活用し、現在そこから転移モデルを作るプロジェクトを行っています。さらに、免疫不全マウスにヒト免疫をつけてヒューマニズドマウスを作るような実験にも取り組んでおり、比較的臨床に近い研究ができております。なかなか日本では手が出せなかった高額な研究費を要する実験にも取り組めており、研究環境に大変恵まれています。

幸いにもラボの雰囲気は良好で、実験終わりにインド人の同僚の自宅にお邪魔して、揚げてくれた魚をつまみながらお酒を飲んだり、みんなで連れ立ってレストラン巡りをしたりなど、仕事以外でも充実した日々を過ごしています。カレーを素手で食べることにだいぶ慣れました。最近ではまわりに日本人ポストクも増えてきているような気がしますし、今後テキサス (ダラス) 留学は盛り上がっていくのではないかと思います。

最後になりますが、この度の海外留学に際しまして上原記念生命科学財団海外留学助成リサーチフェローシップにご採択いただき、誠に感謝しております。まだしばらくは今の環境で研究を続けていきたいと思いますが、最終的には成果を論文という形で世の中に還元できるよう、今後も精進して参ります。



Dallas のダウンタウンにある巨大な目玉のモニュメント

## 米国での生活を振り返り

University of Texas Southwestern/  
Texas Scottish Rite for Children

宇佐美 琢也

(名古屋市立大学医学部整形外科講座)

テキサス州ダラスにある University of Texas Southwestern/Texas Scottish Rite for Children で の留学を始めてから早くも10ヶ月が経ちました。ダラスにはトヨタの北米本社をはじめとする多くの日本企業があり、日本人にとって非常に恵まれた環境です。アジアスーパーマーケットや日本食レストランが豊富にあるため、快適な毎日を過ごしています。

私が所属する Dr. Harry Kim のラボでは、豚を使用した大腿骨頭壊死症のモデルを使って、手術による骨再生の方法を確立しようとしています。また、生体工学を駆使して骨形成タンパク質を届ける新しい技術の開発にも携わっています。ラボには私を除くと医師がおらず、

PhD の研究者たちと臨床の意義について議論することが、日々新鮮で刺激的です。日本で何気なく行っていた手術が、研究者の視点から見るとまた違った意味を持つのが興味深いです。

仕事の後は週に2回、英語を学ぶための ESL クラスに参加しています。英語で英語を学ぶこの経験は、日本の学校で学んだ英語の授業とは違って生きた英語が学べます。また、週末は日米言語交流の Meetup グループに参加することで多くの友人を作ることができました。

プライベートでは、初めての子供を授かりました。慣れない医療体制の中、予約が取りにくい、エコーの回数が少ないなどの多くの困難に直面しました。しかし、チームワークが整った医療体制のおかげで、質の高い医療を受けることができ、とても満足しています。4万ドルの請求書が来るまでは……（保険で1割負担となりました）。

これからも家族と協力して楽しく充実した日々を過ごしたいと思います。末筆ではありますが、このような貴重な機会を与えてくださいました上原記念生命科学財団の皆様には厚く御礼申し上げます。



愛犬と一緒にグランドキャニオンに旅行に行きました！